

九州森林管理局
平成23年2月4日

新燃岳噴火に伴う専門家調査の実施について

平成23年1月26日に噴火した新燃岳は、現在も活発な活動を継続しています。

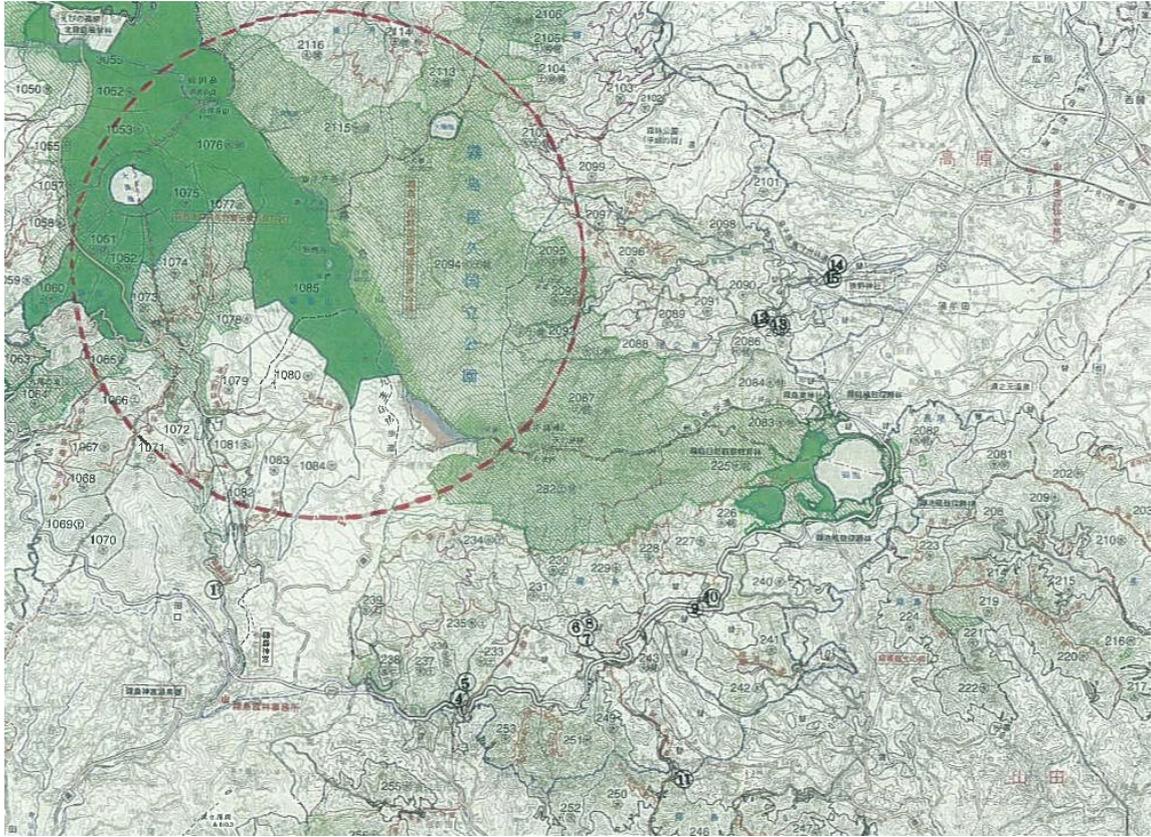
九州森林管理局では、新燃岳噴火に伴い、現地に相当程度の降灰が確認されていることから、今後の治山対策を検討するため、独立行政法人森林総合研究所の専門家による調査を実施しました。

この調査の概要は、下記のとおりです。

- 1 調査対象地
宮崎県都城市および鹿児島県霧島市ほかの霧島山系（国有林）
- 2 調査日
平成23年2月2日（水）から3日（木）
- 3 調査者
独立行政法人森林総合研究所 九州森林管理局 宮崎森林管理署都城支署 鹿児島森林管理署
- 4 調査内容
 - ・降灰状況
 - ・治山対策
 - ・その他
- 5 当面の対応
 - ・国有林を中心とした降灰量調査を実施
 - ・既設治山施設の機能強化
 - ・降灰の著しい溪流への土石流センサーの設置を検討以上の対応については、関係自治体及び関係機関に情報提供する予定

[問合せ先]
九州森林管理局治山課
治山課長 : 中村
治山技術専門官 井野
Tel : 096-328-3631
fax : 096-354-8460

調査状況



調査範囲



治山ダムの堆砂状況



降灰状況

山地災害監視システム例

九州森林管理局治山課

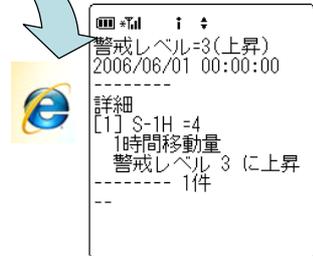
山地災害監視体制システム(主な観測器機)



監視カメラ



通信装置



PC or 携帯電話



土石流センサー



伸縮計



PC or 携帯電話

山地災害監視体制システム(例:岩手宮城内陸地震)

